

⑥トラブル事例・予防方法・現地での対処方法一覧

留学中様々なトラブルに遭遇することを想定し、トラブルの予防や現地での対処方法について、以下の表を参照ください。また、トラブルの内容によって連絡する先や必要な情報がわかります。対処の際の緊急連絡先や情報については事前に確認し、トラブル発生時に対処できるように備えてください。

トラブル	予防方法	現地での対処方法
財布紛失・クレジットカードの紛失等	<p>①カードの紛失・盗難の際の24時間に対応してもらえる電話番号を身近な所にひかえておく。</p> <p>②あまりお金を使うことがなければ、上限が設定されてあるカードを持参。</p> <p>③クレジットカード:もしも盗難・紛失がある場合のことを考慮し、カードを2枚持参し、別の場所に保管。</p> <p>④キャッシュカード:現地で現金を引き落とせるキャッシュカード【裏にPLUSマークのあるもの】を持参。</p>	<p>①カードの紛失がわかれば、クレジットカード会社のサポートデスクに連絡。</p> <p>②クレジットカード会社のサポートデスクがわからない場合はOSSMAヘルプラインに連絡。</p> <p>③カードが2枚あれば、2枚目を使用する。</p> <p>④カードの使用ができなくなった場合、滞在時の支払いには現金を使用。</p> <p>⇒カード紛失にあたってのサポートデスク番号をひかえ、身近な場所に控えておきましょう。</p>
パスポート紛失	<p>①パスポートのカラーコピーをとり、外出時には持ち歩くようにする。</p> <p>②パスポートは安全な場所に保管。</p> <p>③パスポートやビザ(その他重要なものはすべて)についてはコピーを必ずとっておき、渡航前に日本の家族に渡しておく。</p> <p>④紛失の際に必要な写真(4.5cm×3.5cm)を撮り持参。</p> <p>※紛失一般旅券等届出／一般旅券の新規発給申請に必要な書類 ①旅券発給申請書 1通 ②紛失一般旅券等届出書 1通 ③写真 1葉(1葉は、②に貼付用。) →必要枚数は国により異なる ④警察署発行の紛失証明書又は消防署等発給の焼失証明書 1通 ⑤戸籍謄(抄)本(6カ月以内に発行されたもの) 1通</p>	<p>①OSSMAヘルプラインに連絡し、状況に応じた指示を仰ぐ。 * 紛失時、現地警察に届けて紛失証明書を発行依頼。 * 火災の場合、消防署で焼失証明書を発行依頼。 * ビザがある場合は、上記個所で2通発給依頼。 * 日本大使館、日本領事館に連絡し、紛失一般旅券等届出書を提出の上、一般旅券の新規発給申請する。</p> <p>⇒新しいパスポートができるまで最低2週間はかかり、手数料も必要。 ⇒紛失したパスポート番号・発給年月日などがわかれば知らせること。</p> <p>※緊急に日本へ帰国しなければならない場合、「<u>帰国のための渡航書</u>」の発給を受けて帰国することができます。申請に必要な書類については管轄の大使館・総領事館で確認してください。</p>
ホームステイのトラブル	<p>①あらかじめ留学先の生活習慣や文化などを勉強しておく。</p> <p>②生活に必要な最低限の言語能力を身につけていく。</p> <p>③家庭内にはルールがあるので、生活し始めたときにお互いにそのルールについて理解しておく。</p> <p>④お互いの大体のスケジュールについて把握しておく。</p> <p>⑤部屋に人を招くときなどは了解を得、家事の手伝いなどは進んで行うこと。長電話や長風呂はなるべく避けましょう。</p> <p>※ホストファミリーを途中で変更できる正当な理由 ・相手側の受け入れ体制に不備がある場合 (いつも騒がしい・留学生を労働力とみて働く・食事を作らない等) ・通学が困難なほど学校から遠い ・家族の引越などですтейが不可能 等</p>	<p>●第一段階 何か問題や不都合が生じたとき、かかえこまずにホームステイ先の人や友人に相談。</p> <p>●第二段階 それでも解決できない場合は、留学先の担当者または甲南大学国際交流センターに相談。</p> <p>●第三段階 セクハラや家庭内暴力など差し迫った危機がある場合は、OSSMAヘルプラインに連絡。</p>
寮のトラブル	<p>①ルームメイトが外国人や日本人であってもそれぞれの生活習慣などがあるため、あらかじめルールなどを決めておく。</p> <p>②共有するものがあればあらかじめ理解しておく。</p> <p>③外泊するときなどかならず言いましょう。またお互いのスケジュールなどだいたい把握しておきましょう。</p> <p>④部屋に人を招くときなどは了解を得、夜の長電話はなるべく避けましょう。</p>	<p>●第一段階 何か問題や不都合が生じたとき、かかえこまずにルームメイトや友人に相談。</p> <p>●第二段階 それでも解決できない場合は、滞在先の担当者または甲南大学国際交流センターに相談。</p> <p>●第三段階 セクハラやルームメイトが暴力など振るったり、差し迫った危機がある場合は、OSSMAヘルプラインに連絡。</p>

トラブル	予防方法	現地での対処方法
喫煙・飲酒・薬物などのトラブル	<p>①あらかじめ各国のガイドブックなどで、喫煙と飲酒に関するルールについて把握しておくこと。他国のほうが喫煙に対しての処置はきびしく、酔っ払いに対しても警察沙汰になる場合があるので注意。</p> <p>②薬物などの勧誘があった場合は、即断りましょう。</p>	<p>※麻薬については厳しく処置されるので絶対に所持・使用しないでください。</p> <p>※日本よりも罰則が厳しい国もあります。</p>
精神的なトラブル	<p>下記のようなことについて精神的に不安定になることがありますので、あらかじめ知っておいてください。</p> <p>①カルチャーショック(言語・生活習慣・宗教観・社会構造)</p> <p>②教育システムの違いによる学業面での困難</p> <p>③戦争・政変・経済危機による留学先及び母国における影響</p> <p>④指導教員、ルームメート、友人などの人間関係から生じるストレスの対処</p> <p>⑤ホームシックへの対応</p> <p>⑥卒業・帰国後の進路に関する不安</p> <p>⑦母国の家族や親戚の経済状況、病気などによる影響</p>	<p>①今現在のことだけとられずに、具体的に今何をすればいいか考えること。</p> <p>②留学前に考えていた目的の再確認。</p> <p>③日本的価値観で物事を判断しないように心がけること。</p> <p>④助けが必要であれば、自分自身で抱え込まず、友人、ホストファミリーや現地担当者に相談。</p> <p>⑤日本の家族や友人と電話やメールしたりして不安なことなどを話してみましょう。</p> <p>⑥深刻な場合は、いつでも国際交流センターまで連絡ください。</p> <p>⑦身体に影響を及ぼし、専門医を紹介してほしい場合は、OSSMAヘルプラインに連絡。</p>
健康のトラブル	<p>渡航前(日本):</p> <p>①出発前に健康診断を受け、悪いところは完治させておくこと。</p> <p>②歯の治療に関しては現地では医療保険がきかないので必ず治療しておくこと。</p> <p>③持病がある場合は、かかりつけの医者に英文の処方箋を書いてもらい持参すること。</p> <p>④必ず海外旅行障害保険に加入しておくこと。 ※保険によっては、「日本語救急サービス」を行っている場合もあるので、必ずチェックしておく。</p> <p>渡航後(現地):</p> <p>①無理をせず十分な睡眠をとること。</p> <p>②意識して野菜やビタミンをとること。</p> <p>③悩みは一人で抱え込まず、他人に話そう。</p> <p>④暴飲暴食は禁物。規則正しい生活をしよう。</p> <p>⑤無理なスケジュールは禁物。体調にあわせて行動しよう。</p>	<p>●病気になった場合:</p> <p>①ホームステイの場合:ホストファミリーにかかりつけの病院を紹介してもらう。</p> <p>②寮の場合:滞在先の担当者に連絡し、できるだけ滞在先の住居に近く、通院がしやすい病院を選ぶこと。</p> <p>③治療を受ける場合、最初に保険で診てもらおうと告げること。</p> <p>④費用を負担した場合は、必ず領収書もらい、当日は全額支払うようにすること。後日、保険会社に問い合わせ、どのように手続きするか確認すること。 ※緊急でなければ、加入保険会社に予め電話をし、キャッシュレス治療を受けられる場合があります</p> <p>●大きなケガをした場合(平日:大学キャンパス内):</p> <p>①留学先担当者へ連絡⇒救急車等手配。</p> <p>②OSSMAヘルプライン、または保険会社のサポートデスクに連絡⇒救急車等手配。</p> <p>(休日・時間外:大学キャンパス外):</p> <p>①ホストファミリーか友人に緊急連絡⇒救急車等手配。</p> <p>②OSSMAヘルプライン、または保険会社のサポートデスクに連絡⇒救急車や病院等の手配。</p> <p>③救急・火災・警察など、状況によっては、滞在先国の緊急連絡先へ通報⇒救急車等手配。</p> <p>後日、日本の家族・保険会社・国際交流センターに連絡することを忘れずに。</p>
セクハラ	<p>①あまり華美な格好などはせず、現地の学生と同じような格好を心がけよう。</p> <p>②不快感を感じたときに、「NO」と言えるようにしましょう。</p> <p>※人それぞれに不快感が違うため、自分が意思表示しないとエスカレートする可能性があります。</p>	<p>●第一段階 不快感を感じた場合は自分ひとりで悩まず、友人や現地担当者に相談。場合によっては、キャンパスセキュリティに相談。</p> <p>●第二段階 現地担当者に相談した後も何も対応がなく、セクハラが継続する場合は、甲南大学国際交流センターに相談。</p> <p>●第三段階 差し迫った危機がある場合、OSSMAヘルプラインに連絡。</p>
テロ・暴動・感染症・天災など	<p>①現地の担当者、OSSMA会員カード、国際交流センター、その他キャンパスセキュリティなどの緊急連絡先を把握し、身近なところにおいておく。外出時は常に持参するようしておく。</p> <p>②旅をする前には、各国の安全情報や、感染症の情報について確認するようにしてください。</p> <p>●外務省 海外安全ホームページ (http://www.anzen.mofa.go.jp/)</p> <p>●海外渡航者のための感染症情報 (http://www.forth.go.jp/)</p>	<p>①現地の担当者からの指示を仰ぎ、安否状況についてはOSSMAヘルプラインに連絡。 ※その際には、必ず「OSSMA会員番号、派遣留学先、氏名、連絡先」を伝えるようにしてください。</p> <p>②危険度が高い場合、現地の担当者や甲南大学が判断する指示に従って行動ください。その連絡については、国際交流センターからメールか電話をとおして連絡させていただきます。</p> <p>※滞在先大学のHPに対応方法が掲載される場合もありますので確認ください。</p>